

平成 30 年 8 月 9 日

静岡市長 田辺 信宏 様

地方独立行政法人  
静岡市立静岡病院評価委員会  
委員長 西田 在賢

### 業務実績評価に関する意見書

地方独立行政法人静岡市立静岡病院（以下「法人」という。）に係る平成 29 年度における業務の実績に関する評価について、静岡市地方独立行政法人静岡市立静岡病院評価委員会条例（平成 26 年条例第 119 号）第 2 条第 1 項第 2 号の規定に基づく本評価委員会の意見は下記のとおりである。

#### 記

#### 1 法人の業務の実績に関する評価について

- (1) 法人の平成 29 年度業務実績報告書「2（2）小項目ごとの実績及び法人自己評価」中、「第 4 1 地球環境に配慮した病院運営」の法人の業務実績及び法人自己評価について、様々な努力はされているが、計画に対し上回っているとの判断に至らないため、評価は「年度計画どおりに実施している」が適当である。
- (2) 上記(1)以外の小項目については、法人の自己評価どおりの評価とすることが適当である。

#### 2 その他要望等

##### (1) 評価基準等について

できるだけ客観的な評価が行えるよう、他都市の地方独立行政法人病院の評価事例を研究する等、さらなる評価基準の検討を求める。

また、評価項目について、数値化が困難な事項もあると思うが、できるだけ数値化を試みるのが望ましい。

- (2) がん教育について  
市立病院として先頭を切ってがん教育に取り組んだことを評価するとともに、今後の取組に期待する。
- (3) 救急医療について  
本市の二次救急医療が大変な状況の中、市立病院として受入れた救急搬送患者数が市内公的病院で一番多かったことは、「断らない医療」を実践しており、非常に努力していると感じる。
- (4) 患者ニーズに応じた医療・病院環境の提供について  
患者満足度は病院にとって1番大事なことであり、弱い立場の患者が安心して治療を受けられるよう、今後も患者に寄り添った医療の提供を希望する。
- (5) 業務改善について  
公私を問わず先進的な経営に取り組む病院を参考に、より一層の業務改善を求める。
- (6) 医療機関等との連携について  
地域包括ケアシステムに関連し、主体は地域の診療所ではあるが、処置が困難な患者への対応等、診療所の後方支援を法人に要望する。
- (7) 職員の採用について  
有期雇用職員に関して、優秀な職員を推薦で正職員として採用できる仕組み等、モチベーション向上に係る評価制度の検討を望む。
- (8) 安定的な経営の維持について  
外来収入が減少しており、特に皮膚科、眼科で患者が減っているが、今後どのような方針で臨んでいくかが課題だと感じる。

以上